

平成25年度下水道事業決算の概要

1. 決算の概要

歳入	27億2,069万円	A
歳出	27億1,729万円	B
歳入歳出差引額	340万円	A-B

平成 25 年度下水道事業特別会計決算額は、歳入が27億2,069万円、歳出が27億1,729万円であり歳入歳出差引額は340万円と黒字となりましたが、この全額が平成26年度への繰越事業に充てる財源として繰り越すため、実質収支は0円となりました。

(1) 主な歳入の内容

- ・事業収入（下水道使用料等）は、人口の減少や節水器具の普及等により、6億4,164万円と前年度と比較して532万円の減少となりました。
- ・繰入金（一般会計からの補助等）は、公債費（借入金の元利金返済）が増加したこと等から8億8,279万円と、前年度と比較して3,511万円の増加となりました。

(2) 主な歳出の内容

- ・管理費（施設の維持管理費）は、消費税納付額が増加したこと等から6億1,736万円と前年度と比較して238万円の増加となりました。
- ・建設費（施設の建設改良費）は、事業を前年度から4億9,163万円繰り越してきたこと等により、7億179万円と前年度と比較して1,674万円の増加となりました。
- ・公債費（借入金の元利金返済）は、返済元金の増加により、13億8,080万円と前年度と比較して4,025万円の増加となりました。

(3) 主な事業の内容

- ・公共下水道事業では、片山津処理区として打越町、高塚町ほか、大聖寺川処理区として大聖寺緑が丘町、別所町ほかで管渠等の整備を進めたほか、今後の処理場の更新等を検討するための下水道処理区統合検討調査を行いました。
- ・農業集落排水施設事業では、三木地区における新規採択を国から受けるための計画概要書を作成しました。

2. 歳入・歳出決算額の内訳

